

香り印刷市場の拡大へ 100部からの受注に対応

果のこと。これを活用することで相手に深い印象を与えることができ、集客やブランディングなどビジネスシーンでの成果が見込まれるという。

同社では、このプルースト効果を印刷物へ展開。同社が手掛ける香料インキを使い、名刺やシヨップカード、しおり、A4チラシなどの制作にあたる。

「香りの印刷所 プルースト」の立ち上げに際し、同社では自社工場内に専用設備を導入。開始当初より、印刷会社をはじめ、企画会社やイベント会社からサンプル制作が相次ぎ、受注実績に結び付けているという。

「香りの印刷所 プルースト」では14種類の香りを用意。「青春のりんごジュース」や「大人のグリーンライム」、「ぎゅっとしぼる鮮烈レモン」といったネーミングで示し、より具体的に香りがイメージできるよう工夫を施す。

香り印刷市場について、同社営業部の井上雄一朗氏は「まだまだ

インキメーカーの久保井インキ（大阪市東成区、☎06・6973・6211）は、香り印刷市場の拡大に力を注ぐ。展示会では、昨年7月より開始した「香りの印刷所 プルースト」を前面に打ち出し、香料インキを使って印刷した名刺や絵はがき、しおりなどを出品。100部からの小ロット受注を強調し、B to C領域での販売強化に取り組む。

プルーストとは、香りを嗅いだときに感情や記憶が蘇る心理的効



「香り印刷が印象残す」と営業部・井上氏
ニツチ市場。香り印刷自体の知名度向上が必要」と話し、「香りの印刷所 プルースト」の開設でさらなる市場拡大を狙う。